

公益社団法人立川市シルバー人材センター
平成30年度事業報告

I 平成30年度の運営概況

平成30年度の運営方針

**「第2次中期事業計画の達成に向け
事業の拡大と地域貢献に取り組むシルバー人材センター」**

立川市シルバー人材センターの平成30年度は、設立40周年を迎え、第2次中期事業計画で掲げた課題の解決と数値目標の達成に向け、「普及啓発と会員増強」、「シルバー人材センター等労働者派遣事業など事業の拡大と適正就業の確保」、「地域貢献活動の推進」、「安全対策基本計画及び安全就業基準の遵守に基づく事故の減少」、「設立40周年記念事業の実施」の5項目を活動目標に掲げ、さまざまな課題への取り組み、新たな施策の検討・実施を進めてまいりました。

具体的な活動内容は、「II 事業活動報告」に詳しく記載しておりますが、センターの事業の拡大のために最も重要な施策である「会員増強」について、会員増強キャンペーンや会員増強強化月間の実施、設立40周年特別広報や入会案内パンフレットの市内全域配布、市広報やホームページを通じた入会案内、入会説明会の開催、就業体験講習の実施など、会員増に向けた取り組みを行いました。また、「事業の拡大」においては、市立小学校のトイレ清掃や若葉台小学校通学路での交通ルール指導業務などを新規に受託するとともに、派遣事業として保育補助業務などの受託を実現しました。しかしながら、収益事業である葬祭事業が、家族葬の増加などにより実績が約900万円の大幅な減額となりました。

一方で、安全就業においては、昨年度に続き事故件数減を目指し、転倒予防講習や交通安全講習会、AED操作講習会などを通じて安全就業・事故防止啓発を進めてまいりました。

その結果、

請負契約高	9億2,618万余円	前年度比	1.06%	972万余円増
派遣契約高	211万余円	前年度比		192万余円増
請負就業実人員	1,175人	前年度比		30人減
派遣就業実人員	16人	前年度比		14人増
全体就業率	77.8%	前年度比		0.2ポイント減
会員数	1,515人	前年度比		29名減
傷害及び賠償責任事故	11件	前年度比		11件減

となり、契約金額は引き続き9億円を超え、前年度を上回る成績をあげましたが、会員数は3年連続での減少となってしまいました。一方、事故件数は前年度より半減となり、この成果は、安全管理推進委員会委員による巡回や安全関係研修の実施

等による啓発に会員の皆様のご協力いただいたことによるものであり、感謝申し上げます。

最後に、30年度も、会員の皆様が就業と「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」等の地域貢献活動にご協力・ご参加いただいたことに感謝申し上げます。役員及び事務局では、3年連続の会員数減少を深刻な課題ととらえ、会員の皆様の協力を得ながら、取り組みを強化していくとともに、事業の拡大や安全就業の徹底に取り組んでいく所存です。引き続きご協力をお願いいたします。

以下、活動計画の項目別にその活動概要を報告いたします。

II 事業活動報告

1 普及啓発と会員増強

(1) ホームページのリニューアル及び情報発信の充実

10月にホームページをリニューアルし、「シルバーたちかわ通信」や「働く方募集情報」などを通じて、センターの活動や就業情報の発信頻度を高めるなど、情報発信の充実に努めました。

(2) 入会案内パンフレットの市内全域配布の実施

4月及び1月に入会案内パンフレットの市内全域配布を実施し、会員増強の一助としました。

(3) 入会説明会の回数増、入会相談の実施

入会説明会について、会場を本部事務所及び女性総合センター・AIMとし、毎月2回開催するとともに、会員増強キャンペーン及び会員増強強化月間に合わせて開催回数を増やし、会員増強の一助としました。

また、未入会者を対象に、センター事業の案内や入会に関する相談に対応するため、入会相談を実施しました。

毎月開催	本部事務所	14回 (2月・3月のみ2回開催)
	女性総合センター・AIM	13回
地区別開催	学習館	4回
入会相談	4月	3回

(4) 市広報への記事掲載

立川市広報課にご協力いただき、市広報「たちかわ」に入会説明会日程や就業体験講習開催案内の記事を掲載しました。

(5) 会員増強キャンペーン、会員増強強化月間の実施

会員増強のため、5月に会員増強キャンペーン、2月に会員増強強化月間を実施し、入会案内パンフレットの市内全域配布、入会説明会の開催回数増、会報やリーフレットを通じた会員への口コミ協力依頼などに取り組みました。

(6) その他の普及啓発活動

- ① 市民マップ(平成31年3月作製)への広告掲載
- ② 市営葬儀説明会を毎月1回斎場で開催したほか、学習館等を利用し出張説明会を開催しました。(年間計 22回)
- ③ 東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の助成事業である「就業体験講習」により、センター未入会者を対象として、女性総合センター・アィムを会場とした保育補助講習を開催し、事業紹介・入会案内の一助としました。
- ④ 高齢者の交流と居場所づくり、センター事業の紹介などを目的に、「憩いのサロン」を開設しました。

第1回	2月20日	手芸(メガネケース装飾)	参加者 15名
第2回	3月22日	和紙のちぎり絵	参加者 11名

2 「シルバー人材センター等労働者派遣事業」など就業機会の開拓・確保と適正就業の確保

(1) 事業紹介パンフレットの配布やホームページの活用、就業機会の開拓・確保・情報収集・調査研究

ホームページのリニューアルに伴い、職種紹介情報を充実するとともに、「働く方募集情報」の更新も随時行いました。また、就業機会の開拓・確保のため、役職員が出席する研修や会議を通じた情報収集や高齢者に適した仕事の開拓に向けた調査研究を行いました。

その結果、若葉台小学校通学路での交通ルール指導業務、市立小学校トイレ清掃作業、民間マンション等の清掃作業などの新規受託を実現するとともに、小学校トイレ清掃作業の平成31年度における受注拡大に取り組みました。

(2) 「シルバー人材センター等労働者派遣事業」の積極的開拓

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の助成事業である「就業体験講習」を活用した人材育成を行い、派遣事業として、保育園における保育補助業務等を新規に受注しました。

(3) 未就業会員の現況把握と就業情報の発信

未就業会員を対象としたアンケート調査を実施し、健康状態・就業の可否などを把握し、会員への就業提供の一助としました。また、就業に関する相談を希望する会員向けに「臨時就業相談」を実施しました。

臨時就業相談	3月18日～22日	相談人数 20名
--------	-----------	----------

(4) 適正就業確保のための契約内容や会員の就業実態の定期的な確認

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の適正就業巡回指導(10月4日実施)の結果に基づき、契約書類等の内容修正などに取り組むとともに、新規受託や受託職場においては職場環境・契約内容の確認などを行い、適正な請負契約の確保に努めました。

(5) 就業年齢のガイドラインなど就業基準の全面的な見直し

現在の会員への就業提供状況や欠員状況に基づき、就業年齢のガイドラインを廃止するなど見直しを行いました。

(6) 人材の確保・育成のための就業体験講習の実施

派遣事業である保育補助業務の受注開始・拡大に向けて、5月には公益財団法人東京しごと財団主催の就業体験講習で、11月にはセンター主催により保育補助講習会を開催し、就業人員の確保に努めました。

(7) 就業環境整備のための防寒着等の配付

就業会員及び「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加会員を対象に、センターマーク入りの防寒着等を配付し、冬季の健康維持・感染症予防の一助としました。

3 地域貢献活動の促進

(1) 「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」の推進

地域貢献活動の一層の促進のため、引き続き多くの会員の参加協力のもと、市立全小学校で低学年児童の下校時の安全見守り活動を実施しました。また、総務部会及び地域班を中心として参加協力会員の拡大に取り組み、特に就業期限更新時には、未参加就業会員への啓発のため参加要請の文書を送付しました。

(2) その他の地域貢献活動

ファーマーズクラブが農業支援活動及び地域の保育園の芋ほり会への協力を行いました。また、各地域班において、「シルバー広報の日」の統一活動として登校時に安全見守りやパトロールを実施したほか、清掃活動、防災・防犯パトロール、自治会や福祉施設などの催事など地域活動への協力も行いました。

4 安全対策基本計画及び安全就業基準の遵守に基づく事故の減少

(1) 職群班・地域班を通じた安全啓発活動

① 職群班・地域班を通じた安全啓発活動

就業会員個々に安全目標の設定を呼びかけ、会員の事故防止意識啓発を目指しました。また、安全就業強調月間時等に合わせ、交通安全・事故防止等の啓発リーフレットを配付しました。

② 安全標語の募集

安全意識の高揚を目的に平成31年度の安全標語の募集を行いました。募集

の結果、会員24名から103点の応募があり、安全管理推進委員会で選考の結果、最優秀作品1点、優秀作品2点、佳作3点を決定し、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の安全標語選考に応募しました。

(2) 安全就業強調月間の設定、安全管理推進委員会委員による職場巡回

① 安全就業強調月間の設定

7月及び12月を「安全就業強調月間」に設定し、職群班・地域班を通じて月間事故0を目指した呼びかけを行うとともに、安全管理推進委員会委員が職場を訪問し、安全チェック表に基づく職場の安全環境の確認を行いました。

② 安全管理推進委員会委員による職場訪問

会員の安全意識の啓発と職場環境の確認を目的に、安全就業強調月間中に委員による職場巡回を実施しました。巡回時に各職場から聞き取った安全対策や職場環境に関する意見・要望は、安全管理推進委員会及び理事会で報告し、改善等に取り組みました。

(3) 安全関係研修の充実

① 交通安全講習会の開催

交通安全に対する意識を高めるため、立川警察署交通課交通総務係係官等を招き、「高齢者の交通安全」の講義を行いました。

11月22日 女性総合センター・アイム 参加人数 109名

② 健康体操講習会の開催

東京女子体育大学の秋山エリカ教授を講師に迎え開催された設立40周年記念講演会において、日頃の健康維持に役立つ健康体操の実技指導を受けました。

10月30日 柴崎学習館 ホール 参加人数 92名

③ AED操作講習会の開催

警備会社に委託し、管理業務就業会員を対象にAEDの操作方法を確認する講習会を開催しました。

5月15日 本部事務所2階会議室 参加人数 30名

2月15日 本部事務所2階会議室 参加人数 24名

④ 自転車シミュレータ交通安全教室の開催

立川警察署及び日本交通教育普及協会の協力により、「自転車シミュレータ交通安全教室」を開催し、自転車乗車時の注意喚起と転倒予防啓発を行いました。

9月21日 本部事務所2階会議室 参加人数 25名

⑤ 関係機関主催の安全就業に関する会議・研修への参加

第6ブロック安全就業推進員連絡会で、安全就業に関する情報収集や調査研究を行うとともに、東京都シルバー人材センター連合等が主催する安全研修や会議に安全担当理事や安全管理推進委員会委員が参加しました。

(4) 定期的な安全ニュースや啓発リーフレットの配布

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)や全国シルバー人材センター事業協会から提供された事故情報や事故防止啓発リーフレットを職群班や地域班で配布し、安全意識の啓発に努めました。

(5) 安全就業パトロール指導員の巡回指導

当センターの就業中の安全対策や安全管理体制の確認のため、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の安全就業パトロール指導員の巡回指導を受けました。(9月14日)

(6) 安全啓発グッズの配布

就業会員や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加協力会員に対し、夏季には熱中症予防のネッククーラーを、冬季には感染症予防のマスクと凍結転倒防止グッズを、職群班や地域班を通じ配布しました。

5 設立40周年記念事業の実施

今年度、設立40周年を迎え、記念事業として会員交流イベント(ゴルフコンペ、ボウリング)や講演会(講師:秋山エリカ氏)、事業紹介の特別広報の市内全域配布、記念品の配付を行いました。

記念講演会	10月30日	柴崎学習館ホール	参加人数	92名
会員交流ゴルフコンペ	10月22日	昭和の森GC	参加人数	78名
会員交流ボウリング大会	2月22日	立川スターレーン	参加人数	38名
会員親睦日帰り旅行	3月6日	大谷石採掘場跡といちご狩り	参加人数	81名

6 中長期的な運営に関する取り組み

東京都公益法人担当より、公益社団法人移行後の剰余金の解消と年度ごとの収支相償確保について指導を受けたことへの対応として、会員の健康管理・安全就業等及び第2次中期事業計画に掲げた課題の解決に取り組みました。

- (1) 就業会員及び地域貢献活動参加協力会員への防寒着等の配付
- (2) 羽衣ワークセンターの空調設備等の交換工事の実施
- (3) 本部事務所空調設備の交換等のための資金の積立
- (4) その他事業に使用する什器備品類の購入
- (5) 事務局体制の整備・充実

III 組織活動

1 理事会

経営会議、総務部会・事業部会・広報部会をはじめ、安全管理推進委員会や就業決定会議等の活動を推進するとともに、理事会・事務局の緊密な連携のもと、活動計画を実施し、目標の達成に努めました。

(1) 経営会議

代表理事・業務執行理事による経営会議を開催し、適正な運営と執行管理に取り組み、定款の定めに基づき年2回、理事会に対し職務執行に関する報告を行いました。また、必要に応じて総務・事業・広報の各部会長の出席を求め、事業の進捗状況の確認や施策の検討などを行いました。

(2) 総務部会

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主とする地域貢献活動の円滑な実施と参加協力会員の拡大に向けた取り組みを進めるとともに、入会説明会・新入会員研修会の内容充実、総合相談窓口の充実に努めました。

(3) 事業部会

就業開拓・開発・提供担当職員と緊密に連携し、就業開拓、未就業会員の現況把握、職群班の自主的就業管理体制の充実、適正就業の確保などに取り組みました。

(4) 広報部会

センターの普及啓発と会員増強のための施策を検討し、普及啓発活動月間の設定や入会案内パンフレット等の市内全域配布、ホームページのリニューアル、市広報への定期的な入会説明会日程等の掲載、会報の発行などに取り組みました。

2 地域班活動

地域班班長会議の開催などを通じ、総務部会・事務局と緊密に連携して、地域会員の相互交流の推進と「小学校児童下校時通学路安全見守り活動」などの地域に根ざした「地域貢献活動」の実施に取り組みました。

3 職群班活動

お客様からの信用・信頼を維持するため、「共働・共助」の理念に基づく自主的就業管理体制の充実とともに、事業部会と緊密に連携し、適正就業の確保、研修の充実、安全就業の徹底に取り組みました。

4 委員会活動

会報編集委員会を設置し、会員への情報提供・運営状況報告などを目的とした会報「シルバーだより」を年4回(4、7、12、1月)発行しました。

5 会員の福利厚生活動

会員の健康管理・安全確保を目的に、安全管理推進委員会と連携して、熱中症予防・感染症予防のグッズや防寒着を配布するとともに、東京都シルバー人材センター連合を通じて配布された埼玉西武ライオンズ野球観戦招待券を配布しました。また、会員の自主的福利厚生・親睦交流団体である会員互助会の運営の支援及び設立40周年記念事業である会員親睦旅行の実施を支援するため、29年度収益の一部を会員互助会への助成に充てました。